

大分県に適したパプリカ品種選定および仕立て方法の検討

【研究のポイント】

パプリカはこれまで国内での生産があまり行われておらず、韓国・オランダ等からの輸入品が国内流通量の約8割を占めていました。しかし、近年需要の高まりから、国内でも生産が盛んになっており、本県においても栽培面積が増加しています。
 このような中で、生産現場からは本県での栽培に適した品種（果色別）や仕立て方法を明らかにして欲しい、という声があがっています。
 そこで、農業研究部では本県での栽培に適した品種の特性・仕立て方法を明らかにするため、九重町にある株式会社タカヒコアグリビジネス（愛彩ファーム九重）の生産圃場で現地調査を行っています。

【調査内容】

1. 収量・生育調査を行い 有望品種を選定します。
2. 仕立て方法の比較を行い、より収益性の高い仕立て方法を検討します。

※夏秋作：H29.5月～H30.1月(予定)
 冬春作：H29.8月～H30.4月(予定)
 それぞれで調査を行います



地熱を利用したハウス加温



高軒高ハウスにおけるパプリカ栽培状況

これまでの成果（10月中旬まで）

- 夏秋作で収量の高い品種の選定
 - 仕立て方法を品種別に比較
- 赤品種：「UN-506R」
 黄品種：「コレッティ」
 橙品種：「オランダィーノ」
- オランダィーノは2本仕立てで収量が多くなりました。
 3本仕立ては、初期の着果管理に改善余地があります。

表1 品種間の収量比較 (kg/10a)

果色	品種名	合計
赤	UN-506R	5580
	シロッコ	4465
黄	コレッティ	4005
	UN-507Y	2561
橙	オランダィーノ	4051
	UN-503D	2198

表2 仕立て方法ごとの収量比較 (kg/10a)

品種名	仕立て本数	6月	7月	8月	9月	10月	合計
シロッコ	2本	0	1770	1375	894	426	4465
	3本	0	3011	774	700	261	4746
コレッティ	2本	184	1550	991	1119	161	4005
	3本	243	2107	838	580	223	3991
オランダィーノ	2本	0	1341	1070	1101	539	4051
	3本	0	1242	853	786	474	3355



栽培されている三色のパプリカ



2本仕立て
※枝を2本伸ばします



3本仕立て
※枝を3本伸ばします

今後も調査を継続し、成果については普及していきます！

【生産者の声】



(株)タカヒコアグリビジネス 工藤農場長

弊社は、大分県の地域資源である「地熱」を利用したパプリカ栽培を行っています。
 今年で栽培2年目になりますが、収益性の高い農業を目指す上で、適正品種の選定や最適な栽培方法を確立することは非常に重要です。
 今後も関係機関と協力し、収量・品質の向上に取り組んでいきます。

※本研究は(国研)農研機構 生研支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)」の支援を受けて行っています。

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 果菜類チーム
 TEL：0974-28-2081
 住所：大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8